

高校のテニスコート
(夕方や土日は一般開放されます。)



子どもを通じて感じる 教育の制度や環境の違い



▲高校「ホームカミング」の
フットボール観戦です。
レポーター
種井 陽子さん(右)
●アメリカ・ヒューストン在住
(お嬢様と一緒に)

夫の転勤に伴い、2014年8月
から家族でアメリカ・テキサス州の
ヒューストンに暮らしています。渡
米当時中学2年生の娘と小学校
4年生の息子も一緒にです。

ヒューストンは全米第4位の都
市であり、多くの石油関連企業が
オフィスを構えています。テキサス
州はメキシコと国境を接し、
TEX-MEX(テクスメクス)と呼ば
れるテキサス風メキシコ料理を楽し
むことができます。

小・中・高は「6・3・3」でなく 「5・3・4」で12年間

私たちが住む地域の教育制度
は「5・3・4年制」を取っていて、小
学校が5年生まで、高校が4年間
あります。学年の開始時期も異なる
ため、現在日本では中学3年生
の娘は既に高校2年生に、小学
校5年生の息子は中学1年生に
なっています。義務教育も高校卒
業までと定められています。

中学と高校は朝7時30分から
1時限目が始まり、7時限目まで毎
日同じ教科を同じ時限に繰り返
します。同じ学区内だと、年間スケ
ジュールはキンダー(幼稚園)から

高校まで全く同じなので、兄弟片
方だけがお休みなんてことはありません!
親は助かりますね。

授業内容や子どもの成績は インターネットで丸わかり

先生と保護者間のやり取りはE
メールやテキストメッセージ(*1)で
行われます。生徒・保護者用の専
用インターネットサイトでは、各教科
の宿題や授業資料、自分の子ども
のテスト結果や宿題の評価点を
すべて、いつでも確認できます。す
べての家庭にネット環境が整い、
使いこなせる状態が当たり前であ
ることに最初は感動したものです。

息子の学習内容で一番戸惑っ
たことは、常に「なぜ?」と問いか
けがあることです。例えば、シンプ
ルな計算問題でも最後に「なぜそ
うなるのか、説明せよ。」とあり
ます。結果だけではなく、過程や理
由を説明する力を求められます。

部活動や学校イベントも違います

課外活動としての部活動は中
学2年生からありますが、一部の
スポーツのみに限られています。
高校生になると一気に選択肢が

増えます。入部時にはすべて「トラ
イアウト」と呼ばれるテストがあり、
強豪チームだと小さいころから
習っていても入部できないことが
あります。幸運なことに、娘は高校
2年生からテニス部に入ることが
出来、毎日練習に励んでいます。

文系部活動に近いものは選択
科目扱いで、中学1年生から始ま
ります。息子の学校では、ブラスバ
ンド、オーケストラ、演劇、コーラ
ス、アート(美術)が選択肢で、息
子はブラスバンドのサクソ担当にな
りました。バンドの授業は毎日あり、
毎日自宅で楽器を練習することが
宿題です。ちなみに楽器はレンタ
ルも可能です。

学校行事としては、小学校最
終学年あたりからダンスパー
ティーがあったり、高校生ではフ
ットボール観戦をメインとした「ホ
ムカミング(*2)」と楽しいイベントも
あります。

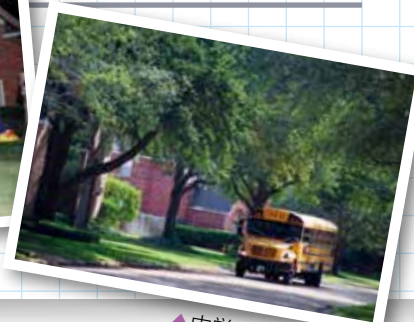
もうすぐ1年で街並みが一番美
しくなる季節、クリスマスがやっ
てきます!雪が降らないヒュース
トンですが今から楽しみです。

(文・写真:種井 陽子さん提供)



アメリカ合衆国
面積:962.8万km²
人口:3億875万人
首都:ワシントンD.C.

10月末の
ハロウィーンの様子▶



▲中学のスクールバス

*1 テキストメッセージ:携帯電話やPHSで送信する短いメッセージ

*2 ホームカミング:年に一回(通常秋)卒業生たちを母校に迎え、ダンスや同窓会など各種イベントを楽しむイベント